

令和7年(2025年)8月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2025年8月 数量 (トン)	2025年8月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	人参	北海道産中心の入荷でした。干ばつにより小玉傾向でしたが、数量は平年並み、平均単価は、前年が比較的安価であったため、かなり高く推移しました。	584	180	99%	148%
2		キャベツ	群馬県産が中心の入荷となりました。適度な降雨もあり大玉傾向でしたが、高温による消費減のため、前年に比べ単価安となりました。数量は減少、平均単価はやや安く推移しました。	631	88	86%	94%
3		トマト	暑さの影響で花飛びなどが散見され数量減となりましたが、高値による影響で消費が鈍く、単価高となりました。数量はかなり減少、平均単価は高く推移しました。	427	492	79%	119%
4		なす	干ばつの影響により数量減となりました。単価についても、前年が高値傾向であったため、前年を下回る結果となりました。数量は減少、平均単価は安く推移しました。	120	341	88%	85%
5		たまねぎ	北海道産、兵庫県産中心の入荷でした。干ばつ・高温の影響により、入荷が遅れ、数量減となりました。数量はやや減少、平均単価はやや安く推移しました。	431	123	94%	92%
6	果実	西瓜	東北・北海道産が前進入荷となり、入荷量が増加しました。しかし、全般的に小玉傾向であることや、果実の成熟が早く日持ちしないことからロスが生じました。数量は増加、平均単価は減少しました。	349	247	118%	85%
7		もも	高温の影響で、実の自然落下や育ちの悪い実の発生、小玉傾向により数量減となりました。数量は減少、平均単価は高く推移しました。	220	690	82%	116%
8		なし	桃と同様の傾向があり、小玉傾向で数量が伸び悩みました。数量はかなり減少、平均単価はやや高く推移しました。	295	544	76%	110%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上